

1 地域再生計画の名称

雪の聖地「南魚沼」へ来らっしゃい！南魚沼ブランドで進める産業振興プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

南魚沼市

3 地域再生計画の区域

南魚沼市の全域

4 地域再生計画の目標**4-1 地方創生の実現における構造的な課題**

本市の主要産業である観光の特徴は、冬季のスキー観光にあり、年間観光入込客数の約3割がスキー観光によるものとなっている。しかし、スキー愛好者層の高齢化や観光客のニーズの多様化・意識の変化により、スキー観光の入込客数はピーク時の3分の1に減少している。そのため、冬季スキー産業のみに依存する観光構造から脱却すべく四季観光の振興に取り組み、道の駅「南魚沼」、「魚沼の里」などの新しい施設による観光、江戸時代の宿場街を模した通りとして整備された商店街「牧之通り」などの魅力を効果的に発信しながら、誘客宣伝したことにより、平成26年度は401万人の観光入込数となった。しかし、インバウンドへの取り組みも遅く、また国内観光ニーズに対しても再び訪れてみたいくなるような魅力を発見し効果的に発信できていないことから、平成28年度では376万人にまで再度減少しており、これによる域内経済の縮小が人口減少問題と相まって将来に向け大きな課題となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

首都圏から約90分で到着できるアクセスの良さに加え、スキー観光で多くの観光客を迎え入れてきたが、スキー人口の減少に伴い観光客の減少が続いている。また、インバウンドへの取り組みも遅れており、当市にとって観光業の衰退は市内での雇用の場の減少と域内経済の縮小に直結することから、大きな課題となっている。反面、南魚沼産コシヒカリや地酒など世界に通用する特産品を有しており、雪国特有の伝統野菜や保存食など、この地域独特の「食」資源が豊富な地域である。このことから、これらを有機的に結び付け、東京2020オリンピック・

パラリンピックを見据えた中、食や地域資源による「南魚沼ブランド」を世界に発信し、インバウンド観光の推進により観光客数の増加を図る「雪の聖地「南魚沼」へ来らっしゃい！南魚沼ブランドで進める産業振興プロジェクト」を進め、平成 32 年に 400 万人/年の交流人口確保を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加 分の累計
当市に訪れる観光交流人口 (人)	3,762,470	80,000	160,000	240,000	480,000
食によるまちおこし キャンペーン参加者 数 (人)	54,535	2,000	4,000	6,000	12,000
市内でのインバウン ド宿泊者数 (泊)	3,585	2,000	4,000	6,000	12,000
食をテーマにしたス ポーツイベントの経 済効果額 (千円)	138,600	34,600	34,600	34,600	103,800

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、停滞している当市の主要産業である観光を復活させるため、雪国の魅力と食をテーマとしたインバウンド観光を推進する。また、世界有数の豪雪地帯である当地域の地域資源や食文化を「南魚沼ブランド」として確立し、当市のブランドイメージを向上させるとともに地域経済の活性化を進める。

5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金 (内閣府) : 【A3007】

① 事業主体

南魚沼市

② 事業の名称：雪の聖地「南魚沼」へ来らっしゃい！南魚沼ブランドで進める産業振興プロジェクト

② 事業の内容

平成 29 年 11 月 28 日に当市が参加している雪国観光圏が日本版 DMO の認定を受けたことから、これの活動と連携した中で、当市として東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、停滞している市の主要産業である観光を復活させ、当市に訪れる観光交流人口の年 80,000 人ずつの増加を目指すため、雪国の魅力と食をテーマとしたインバウンド観光を推進する。併せて地域の観光業関係者の意識改革を進め、雪国ならではのもてなす意識の醸成と受け入れ体制を整備する。また、市内の民間事業者と連携し、この世界有数の豪雪地帯である当地域の特色ある伝統野菜や保存食・食文化などを「南魚沼ブランド」として確立し、商品開発やキャンペーンの開催、情報発信することで、当市のブランドイメージを向上させるとともに地域経済の活性化を進める。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

インバウンドの推進は、南魚沼市観光協会が中心となり、雪国観光圏や民間事業者と連携した中で事業を進める。市観光協会は 2 種旅行業免許も持っていることから、国内でのインバウンド観光客向け旅行商品などを販売して事業性を高め、また市内宿泊施設等への送客や宣伝による手数料や会費により事業の自立を進める。

【官民協働】

当市が支援した中で、ムスリムの受入と誘客を進める民間有志団体である「ムスリムインバウンド推進協議会」や、市内の産官学金で組織する「南魚沼市地域産業支援連絡協議会」と連携しながら、南魚沼市観光協会を中心とした民間主体の推進体制を構築し、本事業を進めることで、将来に向けて、市全体での南魚沼ブランドの確立と販路拡大を進める。

【政策間連携】

南魚沼市特産品協会や各種団体と連携し、市が中心となって起業・創業、雇用支援を進める産業支援プログラムを活用することで、持続した地域産業の育成を進める。また、市有施設で事業を進めるグローバル IT パークに誘致した海外 IT 企業を活用し、海外向けの情報発信を進めることで、より費用に対し事業効果の高い取組みとする。

【地域間連携】

南魚沼地域振興局が平成30年度から始めるインバウンド観光推進事業を活用し、新潟県と共同で観光PR及び効果検証事業を進めると共に、魚沼市、湯沢町との間で締結した「魚沼地域定住自立圏形成協定」に基づき、2市町と連携してインバウンド関係事業、産業振興事業を進める。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加 分の累計
当市に訪れる観光交流人口（人）	3,762,470	80,000	160,000	240,000	480,000
食によるまちおこし キャンペーン参加者 数（人）	54,535	2,000	4,000	6,000	12,000
市内でのインバウン ド宿泊者数（泊）	3,585	2,000	4,000	6,000	12,000
食をテーマにしたス ポーツイベントの経 済効果額（千円）	138,600	34,600	34,600	34,600	103,800

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を、南魚沼市で地方創生交付金の検証を行っている南魚沼市まち・ひと・しごと創生推進会議（委員13人）において事業効果を検証し、事業内容の見直しを行う。（PDCAサイクルによる見直しを実施）

【外部組織の参画者】

南魚沼市まち・ひと・しごと創生推進会議を構成する(株)自遊人代表取締役、北越急行(株)営業企画部長、群馬県立女子大学教授、六日町商工会経営支援室長、(一社)南魚沼市まちづくり推進機構プロジェクトマネージャー(一社)雪国青年会議所顧問、北越銀行六日町支店長、新潟県南魚沼地域振興局企画振興部地域振興課長、国際大学松下図書・情報センター事務室長、(株)羽吹組代表取締役、北里大学保健衛生専門学院事務長、(有)マクレラン牧子取締役、

ロッヂ花風女将などの有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

南魚沼市公式ウェブサイトにて公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 81,800 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を、南魚沼市で地方創生交付金の検証を行っている南魚沼市まち・ひと・しごと創生推進会議（委員13人）において事業効果を検証し、事業内容の見直しを行う。（PDCAサイクルによる見直しを実施）

【外部組織の参画者】

南魚沼市まち・ひと・しごと創生推進会議を構成する(株)自遊人代表取締役、北越急行(株)営業企画部長、群馬県立女子大学教授、六日町商工会経営支援室長、(一社)南魚沼市まちづくり推進機構プロジェクトマネージャー(一社)雪国青年会議所顧問、北越銀行六日町支店長、新潟県南魚沼地域振興局企画振興部地域振興課長、国際大学松下図書・情報センター事務室長、(株)羽吹組代表取締役、北里大学保健衛生専門学院事務長、(有)マクレラン牧子取締役、ロッチ花風女将などの有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	H31年度 増加分 2年目	H32年度 増加分 3年目	KPI 増加 分の累計
当市に訪れる観光交流人口(人)	3,762,470	80,000	160,000	240,000	480,000
食によるまちおこし キャンペーン参加者 数(人)	54,535	2,000	4,000	6,000	12,000
市内でのインバウン ド宿泊者数(泊)	3,585	2,000	4,000	6,000	12,000
食をテーマにしたス ポーツイベントの経 済効果額(千円)	138,600	34,600	34,600	34,600	103,800

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

南魚沼市公式ウェブサイトにて公表する。